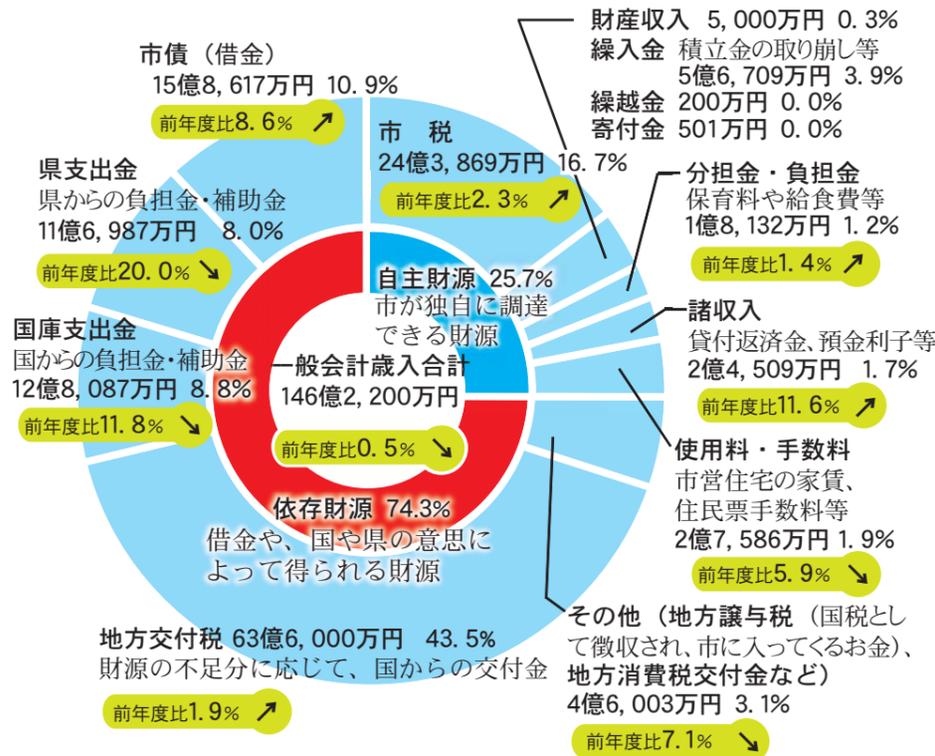
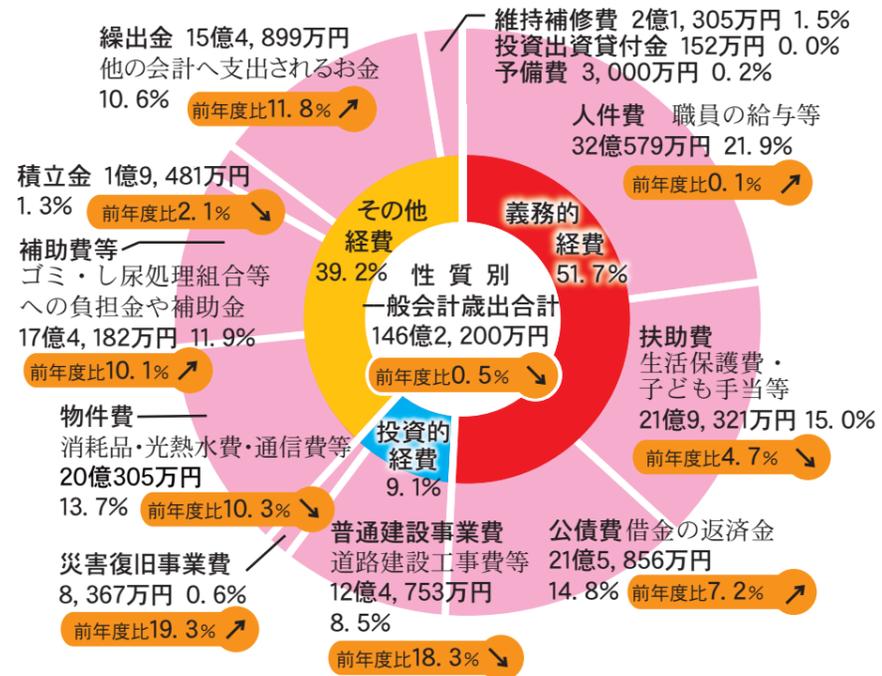


一般会計



歳入 市税は、景気回復や年少扶養控除の廃止などにより前年度比2.3%増となっています。地方交付税は、普通交付税で地域経済基盤強化・雇用等対策費の創設による別枠加算や合併特例債の償還費の増加により前年度比1億2千万円、1.9%増を見込みましたが、なお財源不足が生じますので、その不足額を補うための財政調整基金の取り崩しを計上しております。

歳出 目的別に見ると、総務費は新庁舎建設事業が終了したため、前年度比24.6%減となりました。消防費では消防庁舎の建設関連事業により前年度比40.9%増となりました。教育費では学校の耐震関連事業が終了しましたが、土佐山田武道館および宝町体育館の新築工事により、前年度比27.0%増となっています。



目的別一般会計歳出	金額	割合	前年度比
議会費	1億7,294万円	1.2%	↓10.7%
民生費	45億2,749万円	31.0%	↓3.6%
農林水産業費	7億6,198万円	5.2%	↓0.8%
土木費	8億6,805万円	5.9%	↑7.3%
教育費	15億4,119万円	10.5%	↑27.0%
公債費	21億5,856万円	14.8%	↑7.2%
総務費	20億3,915万円	13.9%	↓24.6%
衛生費	12億8,000万円	8.8%	↑9.7%
商工費	1億4,879万円	1.0%	↓0.3%
消防費	7億1,968万円	4.9%	↑40.9%
災害復旧費	8,367万円	0.6%	↑19.3%
その他	3億2,050万円	2.2%	↓20.0%

平成24年度 総額純計 当初予算 223億4,460万円

前年度当初予算総額純計223億9,078万円

3月定例議会で平成24年度の予算が決定されました。市の会計は、一般会計・特別会計・公営企業会計の3つの会計に分けています。これらを合わせた予算総額から各会計重複額を差し引いた純計は223億4,460万円で、前年度と比べ4,618万円(0.2%)の減となっています。

一般会計

収益のない事業(福祉・教育・道路整備など基礎的な行政サービス)を行う会計で、主に市税でまかなわれます。香美市では地方交付税等の依存財源が大部分を占めています。

特別会計

国保税など特定の収入があり、一般会計と分けて経理することで収支を明確にした会計です。(表中の△は前年度比マイナス)

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	40億2,489万円	△1.4%
後期高齢者医療特別会計	4億4,530万円	10.9%
介護保険特別会計(保険事業勘定)	30億98万円	3.9%
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1,766万円	0.3%
簡易水道事業特別会計	4億9,909万円	△12.8%
公共下水道事業特別会計	5億9,456万円	12.6%
特定環境保全公共下水道事業特別会計	3億945万円	46.5%
農業集落排水事業特別会計	2,822万円	△53.9%

公営企業会計

民間企業と同じように事業で収益をあげて運営している会計です。
 水道事業 4億41万円(対前年度比 10.0%増)
 工業水道事業 2,634万円(対前年度比 2.2%減)

平成24年度 香美市予算

一般会計 146億2,200万円

特別会計 89億2,015万円

公営企業会計 4億2,675万円

各会計重複額 16億2,430万円

主な事業

新規事業

- 消防庁舎建設事業 1億5,614万円
- 物部支所および開発センター耐震診断委託業務 595万円
- 住宅リフォーム補助金 1,000万円
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助金 240万円

継続事業

- 地域支援員事業 685万円
- あったかふれあいセンター事業 972万円
- レンタルハウス整備事業費補助金 2,960万円
- 鳥獣被害対策事業 3,163万円
- 放課後児童対策事業 4,622万円
- ふれんどる一む支援事業 2,333万円

▲一般会計と特別会計の予算書。合わせるとなんと448ページ。